

日本基督教団 東中国教区ニュース

NEWS

東中国教区
教区ニュース誌委員会
〒770-0086
倉敷市鶴形一五五
倉敷キリスト会館内
TEL 086-421-2780

第68回東中国教区総会

開会礼拝説教

聖書 マルコによる福音書 7章1〜13節

・鳥取信和教会・

牧師 廣田 崇示

「神の言葉が、言い伝えか」

ファリサイ派

今日の箇所にはイエス様とファリサイ派の人々との議論が記されています。読みはじめは、わたしはイエス様と自分を重ね合わせ、いかに神の言葉を示すべきかと考えていました。けれど



も、ファリサイ派の人々のことを考える中でそれは間違いだと気づかされました。

た。ファリサイ派の人々はギリシヤやローマの支配の下、人々の信仰が揺らぐ中で律法（神の言葉）に立ち返って信仰を守ろうとした人々でした。それはプロテスタント教会として建てられている今の私たちと同じではないかと教えられたのです。

昔の人の言い伝え

ファリサイ派の人々は律法を守るために「昔の人の言い伝え」を伝えていました。私たちも神様の言葉に従うことを大切にし、伝えていきます。けれどもそれがいつの間にかずれていたことをイエス様は指摘しておられます（八節）。わたしたちも神様の言葉に従っているつもりで、自分の思いや考えなどを伝えてしまう危険性を持っているのです。

神の言葉と人の言い伝え

ここで今一度神様の言葉に立ち返ることが教えられています。けれどもそれはわたしたちにとって難しいことです。私たちは人の話を聞くとときに三分の一ぐらいしか分かっていない

目次

第六十八回東中国教区総会 開会礼拝説教	1
教区議長就任のご挨拶	2
副議長就任のあいさつ・書記就任のあいさつ	3
常置委員就任のあいさつ	5
西日本豪雨「災害発生から二年を覚えて」	8
東中国教区へようこそ・新任教師挨拶	9
「こんにちは」のお部屋・ニュース誌委員会より	10



鳥取教会礼拝堂にて

いと言われている。聞かれています。自分の先入観や解釈で聞き取ってしまうからです。耳の働き自体がそうです。耳は雑音などを排除して聞きたいことを聞き取る機能を持っています。私たちは聞きたいことを聞き、見たいことを見ているのです。イエス様は「こうして、あなたたちは、受け継いだ言い伝えで神の言葉を無にしている。また、これと同じようなことをたくさん行っている」（十三節）と教えられています。神様の前に静まって本当これが神様の言葉に従うものか、人の言い伝えに過ぎないのか聖霊に教えられて歩むものでありたいと願います。

教区議長就任のあいさつ

岡山教会 大塚 忍



五月二十七日
～二八日に鳥
取教会におい
て開催されま

した第六八回

東中国教区定期総会において、東中国教区総会議長に再選されました。重責ゆえに不安を覚えるものではありませんが、神様の召しであることを信じながら、畏れつつ謙虚に役割を担っていきたいと考えています。副議長に選出された服部修牧師、書記に選出された中井大介牧師、常置委員（柴田彰牧師、延藤好英牧師、山本博之牧師、河田直子さん、田中英也さん、土井しのぶさん、難波幸矢さん）の皆様と共に祈り合い語り合いながら、教区に仕え、その課題に向かい合っていきたいと思っています。東中国教区にある教会の皆様もどうぞ祈りにお覚えてください。

わたしたちの教区は、昨年七月に西日本豪

雨を経験いたしました。教区内の教会に集う方々にも大きな被害がもたらされました。心からの神様の慰めと復興をお祈りいたします。東中国教区は、昨年の七月から岡山キリスト災害支援室（岡キ災）と共に復興支援の働きを担ってきました。また十二月には「まびにくらしのぬくもりを」との祈りと共に復興支援の拠点となる「まびくら」を開所しました。二〇二一年三月まで日本基督教団、岡キ災、YMCAせとうちと共に、真備町において支援活動を行なっていく予定です。ご協力くださいますようお願いいたします。

教区は、昨年の第六七回定期総会において「東中国教区二〇一七年度宣教会議声明」を承認しました。その後、宣教構想懇談会、宣教会議、地区協議会等で皆様の声を聞く機会が与えられてきました。その声に聞きながら、また今年度は「議案第十一号東中国教区の宣教強化に関する件」を上程し『教会強化特別資金運用規定デザイン』を提示しました。今年度は、まず宣教会議において、このデザインについて協議を行ないます。さらに、昨年同様、常置委員会、伝道協議会等で議論を行

なっていく予定です。教区内にあるすべての教会の宣教が豊かなものとなっていくような方向性を示したいと願っています。

最後になりましたが、東中国教区の諸教会の皆様歩みのうえに神様の祝福が豊かにありますように。二年間どうぞよろしく願いいたします。

「まびくら」

岡山県倉敷市真備町有井字八反田66-6
電話・ファックス 086-451-3109



副議長就任のあいさつ

蕃山町教会 服部 修



二年間の副議長としての歩みを顧みると、決して十分なことがで

きたとは思っておりません。しかし、神さまと皆さまに選んでいただいた以上、誠実に仕えて歩みたいと願った二年間でした。そして、今総会においても一度副議長に選ばれたことを受け、改めて与えられている務めの大切さを思わされます。

議長を支えるとともに、議長、書記と連携しながら常置委員会をはじめとした議事の運営に務める中で、なお意見の違いは出てくるだろうと思います。その中で、イエスさまの主権を建てるために何が必要であるのか、という根本を忘れることがないようにと願っています。

どうか、今後も三役また執行部のことを覚えてお祈りください。

書記就任のあいさつ

倉敷教会 中井 大介



このたび東中国教区第六九総会期の書記に選出いただきました

倉敷教会の中井大介です。二〇一八年七月に西日本を襲った豪雨災害の真っ直中において「先生、すべてを失ってしまったんです」との信徒の言葉を心に刻みつけています。私たちの隣人とは誰でしょうか。主の慰めを必要としている人はどこにいますでしょうか。私の岡山における宣教の原点は先のつぶやきにあります。主は、人が打ち倒されても見捨てられるままにはなさない方であるとの確信に、私自身が生かされると同時に、その御言葉の実践に参与することが求められているように促されています。このたびの書記任命は青天の霹靂ですが、宣教強化に取り組み、傷つく人とともにありつづけようとする東中国教区の働きに微力ながら尽くさせて頂きたいと存じます。

第六十八回

東中国教区定期総会報告

書記 中井 大介

五月二七日～二八日にかけて鳥取教会を会場に第六八回東中国教区定期総会が開催されました。準備に携わって下さった方々のご尽力に加え、会場教会の多大なご協力とご奉仕により感謝いたします。限られた紙面の中ではありますが、教区総会の内容を報告いたします。

議長報告

昨年七月に発生した西日本豪雨による教区内の被害の報告の後、教団をはじめ超教派で構成された岡山キリスト災害支援室（岡キ災）やYMCAせとうちと連携をとり、活動拠点「まびくら」を軸に展開する災害支援活動の報告がなされました。また「東中国教区の宣教強化実質化」について、二〇一八年度の諸活動の説明があり、教区内の様々な意見を受けた上で二〇一九年度の取り組みへと展開していく旨が語られました。その他、伝道資金、教区の集い、新たな教区事務所体制などが報告されました。

三役選挙・常置委員選挙

三役選挙及び教区常置委員選挙が行われました。今総会では開票作業の負担を減らし、選

挙委員が議場に参加できる機会を増やすために議員番号のみを記入する方法が導入されました。

一日目の議事を終えて

初日の議事を終えた夜、新任教師の紹介・歓迎の時を持ちました。その後、草井琢弘牧師（日本同盟基督教団岡山めぐみキリスト教会・岡キ災室長）より、東中国教区が連携して行っている西日本豪雨の支援活動の取組が紹介されました。続いて「東中国教区の宣教強化実質化に関する件」について意見交換の場が設けられました。

按手礼式執行

二日目午前九時、木谷実師（湖山教会）の按手礼式について、常置委員会の面談を経て議場の承認を受け、大塚忍議長の司式により執行されました。

逝去者記念礼拝式

二日目午後一時、二〇一八年度中に逝去された五九名（信徒五八名、教師一名）を覚えて逝去者記念礼拝が行われました。

教団機構改正

秋山徹教団総幹事より、教団議長挨拶を代読の後、教団が推進する機構改正について説明

を受けました。逼迫する教団の財政状況にあつて、常議員の減数・委員会及び事務機構の縮小をはかり、伝道基本方針として祈祷・信徒伝道・献金を促すこと等が語られました。東中国教区が提出した質問状（教団の財政推移・教団機構から除外される委員会・直近十三年の教団の総括）への応答を受けて、意見が交わされました。

東中国教区の宣教強化実質化に関する件

一日目夜の意見交換をふまえ、二日目の議事にて常置委員会よりデザイン案が提示され、趣旨、原資、支援対象事業、及び特設委員会設置が提案されました。議場では、本件の骨子となる「協働」の意について改めて意見が交わされました。意見交換の場と議場が上がった意見もふまえて、二〇一九年度では引き続き丁寧な対話を重ねながら、提示されたデザイン案をより具体化していくことが提言されました。無記名投票により賛成四十一票、反対八票、白紙八票のうえ承認されました。

選挙結果報告

▲新議長に大塚忍教師を選出▼

教区議長選挙は、予備投票、本投票を経て、有効投票総数六十五票中、大塚忍議員三七票、服部修議員二十五票、永倉直嗣議員二票、田中

馨子議員一票で、大塚忍議員が選出されました。

▲新副議長に服部修教師を選出▼

教区副議長選挙は、予備投票、本投票を経て、有効投票総数六十六票中、服部修議員五十一票、長倉直嗣議員三票、中井大介議員六票、柴田彰議員六票で、服部修議員が選出されました。

▲新書記に中井大介教師を選出▼

教区書記選挙は、慣例通り議長及び副議長による指名となり、中井大介議員が指名され、議場の承認を得て書記として選出されました。

▲教区常置委員選挙結果▼

教師常置委員三名、信徒常置委員四名の選出にあたり、予備投票、本投票の後、左記の議員が選出されました。

教師常置委員（敬称略・五十音順）

柴田 彰（倉吉）
延藤 好英（和氣・三石）
山本 博之（玉野）

信徒常置委員（敬称略・五十音順）

河田 直子（蕃山町）
田中 英也（倉吉上井）
土井しのぶ（総社）
難波 幸矢（光明園家族）

「常置委員就任のあいさつ」

倉吉教会 柴田 彰



鳥取中部の倉吉教会に遣わされて五年目になります。これまでも常置委員に加えられてきたので、教区

の悩みと痛み、そして相互尊重への歩み寄りや間近で見えてきました。時を経て今、教区の運営が正常化し、近未来の将来像を描きながら宣教方策を模索する教区の動きに、神さまの導きを思わずにはおれません。

教区総会で教区内教会の宣教強化を実質的に進めていくための新しい制度を今年中に準備することが決議されました。また新たな議論が展開されることでしよう。不備であった部分が指摘され、見落とされていた点に注意が喚起され、さらには提案された理念そのものに対する問題性が議論されることも予想されます。どの意見も、どの視点も「主の教会」を愛する思いからのものなので尊いものです。

前任地の教区で同じようなプロセスがありました。また同じような作業に携わってきました。振り返れば、その教区が新たな歩みに希望

をもってスタートできたのは、恵みの発見でした。村にある小規模教会、過疎化の進む地方都市の教会の存在は、「ここにも主の教会が立てられていた」「この地域にも宣教の拠点がある」と再認識させるものでした。財政的には厳しいけれど、「宣教資源」の豊かさに気づかされました。

主イエスが譬えて語られた、主人から預けられた1タラン톤の話があります。地中に埋めたままでは1タラン톤のままです。そう言えばあの教区で、用いることを期待した主人の思いに気づかされたのがターニングポイントでした。

和気教会
三石教会
延藤好英



心の内にあ
る三つの事

①新しく与えられたオリジナル賛美歌が、多くの人の愛唱歌となり、共に集まって歌うことが、喜びとなりますように。

②教区内の教会が、月に二回教会に集まりますように。一回は、教会の片づけや掃除に共に

汗を流すために。一回は、聖書と賛美と執り成しの祈りをささげるために。このシンプルな活動が続ける中で、神さまの奇跡がそれぞれの教会で起こり、神さまに愛されていることを実感し、喜びの輪があちこちで広がりますように。

③付度というか、心配の先回りをし過ぎて来たなという自分自身の反省。クリスチャンでない人の前で祈ろう。人に批判されることを恐れないで発言していこう。間違いを指摘されたり、意見が認められなかったとしても、理解し学ぶ時と受け止めよう。

共に歩んでいくための三つの事

①和気教会のFacebookページで、毎朝「朝メール」配信。動画のページで、和気教会の礼拝中継中。

②ブログ「今日も一日ありがとう」で、毎朝デイボーションメッセージを掲載中。

③第五日曜日は、他教会の礼拝説教に行くことができます。是非お招きください。

「主はすぐ近くにおられます。どんなことでも、思い煩うのはやめなさい。何事につけ、感謝を込めて祈りと願いをささげ、求めているものを神に打ち明けなさい。そうすれば、あらゆる人知を超える神の平和が、あなたがたの心と考えとをキリスト・イエスによって守るでしょう」
(フィリピ四章五b～七節。)

玉野教会 山本博之



この度、第六十八回東中国教区定期総会において常置委員に選出されました。

誤解を恐れずに心の内を申しますと、選ばれたことに落胆を禁じえないというのが正直な気持ちです。私自身、教区内には常置委員に選ばれるに相応しい教師が他に多くおられると思っておりますので、所信表明では「常置委員を経験された方が選ばれるのが望ましい！」ということを強調しつつ、補足として「選ばれた場合には真摯に受け止めたい」と話したつもりでしたが、「山本先生はやる気がある！」と思われた方も多くおられたことを後で知り、また、励ましの言葉も頂きました。

今期の常置委員に託された課題は多く、教区内の諸教会・伝道所に繋がる信徒の皆さまの信仰生活が希望の持てるものとなるために危急のものばかりです。しかし、聖霊の洗礼を待ち望んで心を合わせて熱心に祈った一人一人に聖霊が降り教会が誕生したように、私個人とし

ては、「教区の祈りのカレンダー」を通して諸教会・伝道所の祈りに心を合わせることを始めとして、主の知恵を求めつつ、託された務めに励んでまいります。

私が牧会している玉野教会では今年度、「人間の心は自分の道を計画する。主が一步一步を備えて下さる」(箴言十六章九節)との御言葉が与えられており、私の常置委員としての働きに対しても、主が確かな道を備えてくださると信じ従ってまいります。この小さき者のためにも、祈りのご支援をよろしくお願い致します。

蕃山町教会 河田直子



私が初めて
教区総会に
議員として
出席したのは、
二〇〇三年第
五十二回定期
総会でした。

当時いきなり岡山東部地区から信徒常置委員として推薦され、どうせ員数合わせ、当て馬でしょうとタカをくくっておりました。なんとという不遜な傲慢な者であったことでしょう。以

来、教区常置委員としての働きは到底担い得ない、いえ、担いたくないと心の中で逃げておりました。しかし、今回、初めて、すべてを主に委ねようと祈りました。結果として選出されたことは、そこに主の御心があると思わざるをえません。思えば、蕃山町教会の先達の方々も、常置委員として教区の働きを担ってこられました。また今は服部修牧師が、副議長として教区に仕えておられます。東中国教区の中で、蕃山町教会がこれまで担ってきた働きの大さを思い、主の前から逃げようとした小さき者、傲慢な者でしかない私の首根っこを捕まえるように、引き出し召し出してください。父なる神の御心の深さを思わされます。教団の機構改正、また教区の宣教強化対策が大きく変換しようとしているこの時に、このような小さき者を用いようとしてくださる主のため、ただ神の栄光が現されるために仕えてまいりたいと存じます。ヨナが絶望の中で祈ったように「救いは、主にこそある」ことを信じ、教区の伝道のために、同じ一つの信仰のもとで、謙遜に、忠実に仕えていくことができますよう、この小さな者のために、お祈りください。

倉吉上井教会 田中英也



前々回の定期総会において、常置委員会の構成が教職三、信徒四の七名に変更されました。

信徒常置委員が一名増えても、まだ信徒の意見が十分に常置委員会に届くまでには程遠い。常置委員が積極的に地区・教会に出かけ、信徒の意見を直接聞く姿勢が大切だと思う。また今総会で、女性信徒委員が三名選出されたことは、常置委員会の意見交換に大いに期待されます。

教区内の四十七教会のうち半数は財政規模の小さい教会です。総会で教区はこれらの教会を協働して支援することが大切な役割だと確認されました。

（私見）「協」の字の意味は、イエス様の十字架の贖いに添い、聖霊の力によって、牧師と信徒が共に力を合わせる事と理解します。

《提案》共に意見交換しましょう

1 多様な教会観に発想を転換しましょう。

一教会一牧師を理想としながらも、これに基づく牧師謝儀の考え方を、生活支援から活動支援へ転換し、教会強化特別資金運用規定を見直

します。

2 礼拝サポートの支援を拡大しましょう。

教師（説教担当者）派遣だけでなく、交通手段がなくて出席できない信徒の礼拝出席をサポートする活動まで拡げます。

3 教会間の交わりを深めましょう。

協働するには、地区内の教会の教師・信徒の信頼関係が大切です。更に、近隣の地区間の交流を促進しましょう。

総社教会 土井しのぶ

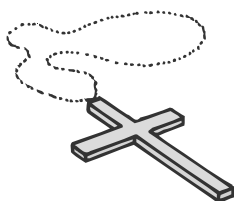


この度は常置委員に選んでいただきありがとうございました。どうぞ、よろしくお願いいたします。

私の属する総社教会は、再生七年目に入りました。国道一八〇号線がすぐ横を通り、JRももたろう線「東総社駅」からは徒歩三分です。街中にあるのに、当時教会は樹木に埋もれて十字架も霞んでいました。それが今や、総社教会が街の真ん中に堂々（?）と現れています。再生第一期の代務を担ってくださったのは当時琴浦教会の嵐護牧師でした。岡山県中部地区伝道協議会がバックアップ態勢を取って

くださり、礼拝サポートでは、礼拝を牧師と信徒の「一対一」にさせてはならない、信徒も一緒に礼拝に参加しようとの話し合いもなされたと聞きました。経済的にも負担の無いようにと、一回の説教は交通費千円だけ。それで献金したら赤字じゃない・・・と思いますが、その態勢で総社教会は五年間、神様に導かれてきました。こうして毎週何の心配もなく礼拝が守られてきたことに驚きます。皆さまの祈りと協働の賜物です。

現在の代務者は倉敷教会・中井大介牧師ですが、眠っていた教会から、鐘が鳴り響き、喜びの歌声が聞こえています。主の教会の存在、福音を述べ伝えるための御用に総社教会も用いられていることを感謝しています。



光明園家族教会 難波幸矢



たか記憶にございません。しかし委員会の有り様や状況はずいぶん変わりました。私はいつも是々非々で関わっています。そうしないと会は良くなりません。

私は教会、教区以外で、一般社会での諸課題を担っている方々との委員会にも関わっています。退職教師やいろんな人が混ざっている「平和推進岡山市民協議会」もその一つですが、「岡山ホームレス支援・きずな」は副理事長で、結構時間も労力も注ぎ込んでいます。老体に鞭打って頑張っています。夜回りは堪えます。中でも面白い？のは「三・八国際女性デー」です。実行委員は一年に一回の講演会にどなたを呼ぼうかと、その年の社会状況や課題に沿った講師を、みんなそれぞれ意識を持った仲間なので、資料をそろえて自分の推薦する人を提案します。福島原発二年後の講師選択の時、私は樋口健二さんを紹介しました。でも有名な他の人に決まりそうでした。そこで私は、「彼

「常置委員に選んで下さって感謝」
多分一番古株と思います。いつ頃からさせて頂いてい

はあまりにも原子力発電所に爆発以前から問題意識をもって通い詰めたので現在白血病です。来年は生きていないかもしれないと言いました。勿論本当です。みんな顔を見合わせました。そして決まりました。良くよく話し合っ

西日本豪雨

「災害発生から一年を憶えて」

まびくら運営委員 渡辺真一
(岡山博愛会)

西日本を中心に大規模な災害が発生した二〇一八年七月の豪雨から一年が経とうとしています。被災した方々が過ごして来られたこの一年間の大変なご苦労と共に、一年前の出来事を再び心に刻むこの時の大切な意味をあらためて憶えます。

東中国教区においても教区内の地区で甚大な被害があり、超教派組織である岡山キリスト災害支援室（岡キ災）と連携しながら、出来ることを模索してきた一年だったのではないかと振り返ります。教区内外で、様々な方が、様々な形で、我が事としてこの災害に向き合っ

は時の中の点として、被災は時の中の線として今も続いている、との言葉を聞いたことがありますが、まさにその通りだと実感しております。ですから、これから何かできることはな

東中国教区では引き続き、「まびくら」という拠点を中心に支援活動を継続しています。地域の方々が気軽に立ち寄る場所として、様々な支援活動ができる場所として、そして私たちの祈りが被災地に届けられる場所として、被災した地域に建つ「まびくら」が主の愛と平和を実現する道具として歩むことができますよう、どうか祈りにお加えください。



まびくらでのプログラムの様子

東中国教区へようこそ 新任教師挨拶

玉島教会 阿部雄次



静観自得

いきなりですがクイズです。私の名前は聖書に登場してきます。さてさてどこに。阿部＝Abe＝エイブとは英語のアブラハムのシヨートネームなのです。七五歳の時に彼は主のご指示に従って一族挙げて長い旅に出かけています。この旅のことは全て「主のご計画」と信じて彼に「倣って」赴任してまいりました。素晴らしい信仰の同労の友との新しい交わりが私の宝物となってくださろうとしています。前任の倉橋先生の八年間のご丁寧な牧会に心より感謝いたします。どうか宝石のような島＝玉島の地で教会の標語である「神の家」を少しでもさらに実現していきますようにと願っています。どこかでお会いするでしょう。どうぞ宜しくお交わりの程をお願い申し上げます。

琴浦教会 川上幹太



皆さん初めまして。この四月より琴浦教会の主任担任教師として着任しました川上幹太と申します。前任地は京都教区滋賀地区の長浜教会（十六年）でした。今まで住んだことがあるのは関西方面と群馬県ぐらいなので、中国地方は新鮮です。温暖な気候と人々の温かさに癒されています。教会から眺める海も綺麗ですが、海の近くまで散歩して自然の生き物たちと出会うことが日々の楽しみとなっています。先日、の教区総会では、マンガ・イラストが上手いということ、早速教区ニュース誌委員に選出されました。与えられた賜物が、教区の宣教のわざに用いられますよう願っています。

よろしくお願いいたします。



湖山教会 木谷実



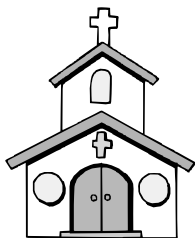
湖山教会に京都丸太町教会から転任してきました。伝道師を終えて主任牧師としての始まりの地が鳥取となったのですが、じつは人生の始まりも東中国教区でした。私は三歳まで児島教会で育ったため、教区には帰ってこさせていだいたという形となります。こうして再び教区の交わりに加えていただけたことに、神様の不思議な導きを感じつつ、与えられた場で仕えてまいりたいです。

家族はつれあいと私の二人暮らしです。鳥取のきれいな自然と美味しい魚に癒されながら、二人での鳥取ライフを楽しんでいます。教会の方々にも支えられ、祈っていたいただいて本当に感謝です。たくさんさんの「初めて」に遭遇して戸惑うことも多いですが、ぼちぼちと、楽しんでいきたいです。未熟で足りないところの多い私ですが、今後ともよろしくお願いします。

津山城西教会 田中直子



はじめまして、この度津山城西教会に担任教師として赴任しました、田中直子です。城西教会は美作落合教会を兼務しております。一年間常駐の牧師が居りませんでした。この間、教区、地区の諸教会の牧師先生をはじめ信徒の方々に祈って頂き、応援頂きました事に感謝いたします。大阪から参りましたので、どちらを向いても殆んど認識のない者です。まず教会と地域を知り、神様のみこころを伺いつつ、ぼちぼちと慣れてゆけたらと思っています。お祈りをよろしくお願いいたします。



津山城西・美作落合教会 田中寛也



「二つの教会は一つの体」

津山城西教会と美作落合教会の主任教師の田中寛也です。この四十年近く、津山城西教会の牧師が美作落合教会を兼務して来ました。本務教会も牧師館も津山にあるので、城西教会が主、落合教会が副となる牧会が続きましたが、現在は二つの教会が牧会者を支える主教会との自覚が必要な状況です。

県北地区の教会は岡山県と鳥取県の中央地域にあり、東中国教区の要となる教会群です。落合教会は創立一三〇年、城西教会は創立一〇〇年を超えました。山の上の町は隠れることが出来ないように、イエス・キリストの救いを輝かす世の光としての使命を担いたいと願っています。

「こんにちは」のお部屋

「ニュース誌委員会より」

東中国教区ニュース誌委員

琴浦教会 佐藤孝志

二〇一九～二〇二〇年度ニュース誌委員会は、委員長に渡辺真一牧師（岡山博愛会）、委員に川上幹太牧師（琴浦）、林明奎伝道師（倉敷）、米良重徳（蕃山町）、佐藤孝志（琴浦）の五名と教区書記の中井大介牧師（倉敷）の陪席で運営されます。活動は年四回のニュース誌の発行と教区ホームページの管理です。皆様のご支援よろしく願っています。

編集後記

今号は教区総会に関する記事が中心となり、特に新常置委員に選出された方々の声を集めました。多くの執筆者の想いが言葉となって今号に寄せられたことを心より感謝いたします。

(W)



★ハラスメント相談窓口★

毎月第三水曜日 午前九時～午後九時
電話番号 〇九〇ー一三三〇ー一八七三〇